

矛 ^五 号

1956-6

日	
渗頭言 ••••• 場	長・・・/
七鳥類の〔サパ柱〕・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 田之上 豊 『	を・・・る
	· • • •
一徳の島-・・・・・・・・・新 村・豊	田・・・4
機能増殖(その一)・・・・・・・・・・・・・・・・・ 山 易	美・・/0
米之證海苔種子關拓調査・・・・・・・・ 九萬田 一	已 · /2
	造・・20
庭児島湾定点観測・・・・・・・・・・ 小 松 光	男・・22
西俣氏に物申す・・・・・・・・・・・・・ 東海	昇・・25
サバ入港船より見た漁況(四月)・・・・・ 肥 後 道	隆 …28
ちどり丸目記・・・・・・・・・・・川 上 市	正• -29
采流魚 ····································	郎・・32
長崎雑國 ・・・・・・・・・・・・・・・ Y ・ T	生·· <i>33</i>
東支那海における〔サバ〕・・・・・・・	
漁況について・・・・・・ 徳 留 陽-	-郎 ·35
[うしお煮]に寄せて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	徳・39
	修 ·41
	之進• •44
製造部便り・・・・・・・・・・・・・・・・・製造部便り・・・・製造	部· ·46
倉 美短信 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	生・49
お搾の記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・上野	茂・・50
場長メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 上	長・・52
増殖メモ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 増 殖	係 ·54
編集後記 又	木 •55

鹿兒島県水産試験場

昭和30年度のり養殖結果の後討会が先日あつたが、そのと き集人日当山町小浜部落の鳥浜幸造さんの発表によると建込ん だ女竹/本当り約14枚平均の生産をあげておられる。途中で、 流失した膝もあるので、終漁額まで残つた様だけの平均を出せ ばるつと多くなり、20枚近くになる様です。こうで特等した いことは、鳥浜さんは土木技術家で"のり"養殖はもちろん水 盛には全く縁の無かつた人であり、養殖場所も鹿児島灣の奥で あまり染件が良くない、しかも今回が全く初めてやつてみた結 馬であることです。女竹/本当り /5 ~20 枚と云う数字は"の り"の先進県では、又本県の米之海方面でも"何んだあたり前 のことだ"と云う程度ですが、今漁期の、特に本県内女竹ひび の生産不良であつた結果に比べてみれば、"のり養殖"に関係 のある人ならすぐにピンと来るところがあると思います。 技術的工夫と努力を振り向ければ専問外のことでも同じ要領で 成あするものだと感じました。(同じ場所で同じ種子ひびを建 込んだ他の人々もありますが、殆んど生産をあげられなかつた と聞いて居ります。)

現在判つている範囲の"のり"養殖上の注意事項を守り且これ を現場にあてはめるときに色々と創意工夫し努力を続けられた 結果であります。、

"牛を水ぎわえ引はつて行くことはできるが、その水をむりに飲ませることはできない"と云う格言がありますが、我々試験指導機関の任務と効果もそのとおりで、良さそうな仕事とか、やり方を業界に提供することはできても、これを実行するのは結局部落なり業界の個人々々であつて、これらの人々が、やる気がなかつたり、努力をつづける熱意に欠けていては決して効果があがらないものだと痛感する欲窮です。

"七島灘の 應 大 水 産 学 部

蘇鉄の都奄美大島から袂百合や天皇梅で有名な七島周辺は、 若薬の時季より一足早く、3月の漸く水温む季節になると、鰹 なられ小サバ大群が沿海に押じ寄せて来て、海にも春の訪れを 知らしてくれる。

すると、人々は喜んで老いも若きも浜に出る。紺碧の海から小 サベで履らんだ網を持つて楽しげに帰る姿があちこちの島で見 られるようになる。

この春の使者は毎年3月から4月のきまつた時季に、同じよ うな場所にやつてくる。それが必然の約束事であるかのように。 しかし人々はこの使者の故郷や長い旅路を誰も知らない。余 りにも馴れすぎた現象であるために人々が不思識に思わなくな り、誰も知ろうとしないのかも知れない。

たまたき珍容が来て、小サバの大群を目撃して、島の人々に 尋ねると、漁師は口を揃えてためらうことなく、こう答える。 川海の昼襲が小サベになつて海の底から湧いて来るりと。

馬鹿げた話しのようだが、ユーモア的で仲々味がある。

それ程ゴマナメの産卵、稚魚群の移動については解明し尽さ れていない学界の謎がある。

又七島聯から変美大島の笠利湾とその東側沿岸、硫黄島等に 時には您の色が変る程押し寄せて、捕つても捕つても尽きない 小サバの詳を形容するにはへたな言葉を使うより強いて来ると 云つた方が却つて感じが出るようである。七島灘の小サバはそ れ程多い。

漁族となると又面白い。

島近くに来て、荒波にもまれ、大きな魚に追われると、小サ メの群は港や島陸の入江等静かな所にはいり込んで難を逃れよ うとする。外海に較べて 棲み心持の良いこの場所で時の立つの を忘れて遊び耽けるといつの間にか汐が引いて水溜りに取り残 されてしまう。そして俄か作りの小池の底に固まつている。淺 瀬の群は人間様と云う陸の強敵を知ろう答もなく、いつまでも 塔で群泳して神合に去る事を知らない。

沙が引くと島の人々は手に手にタモ網や竹棒を持つて海に出かける。そして水溜りの小サバを抄い或は竹棒で農埃を叩き出す如く、海の面を叩き廻りやがて小サバの群を砂浜に追い上げ、濡れ手で小サバを 摑み捕りする。 バケン一杯位補るのは簡単なものである。

舟を持つている人は仲に出る。

沖では小サバの群は流れの早くない淀んだ場所を好んで集る。 沖では貧食な鮫を筆頭にサワラ、シピ類、カツオ類其の他の 大魚が小サバの御馳走を待ち構えていて、空つ腹になるといつ でも襲撃を開始する。

、鮫に追われると、小ナベの群は寄り固つて防禦陣を敷く。まるで海中に生えた一抱えるある太い 柱のように棒状になつて。 そして表面の群は押し上げられて湧き出る泉水のように水面から盛り上がつて来る。

舟で海に出かけた人々はこんな群を探し、タモ網一つあれば 容易く抄い捕る事が出来で、時には伝馬に大漁して引き上げる 事さえある。

いつも悪名を藏かしている鮫族もこの時ばかりは、生きた補助漁具となつて縦横に活躍してくれる。俺達だつて、と云わぬばかりに一。

私は此の鮫に追われて海中で樟状の防禦陣を敷いたサバ群を 名付けて、七島灘の〔サバ柱〕と呼ぶ癖にした。

特徴ある小サバ群の習性であり、面白い漁法である。

さて、重要な事は恵まれたこの資源を島の漁師だけでなく、 我々漁業者、研究者が如何にして最大限に活用するかと云う事 である。

電美群島の有用 震海 資源 (その /) 一徳 之島 一大島 分場 (養殖係) 新 村・豊 田

※・まえがき

分類学的位置として、各種動・植物図鑑等に【奄美大品】の 地名が記入されているのが比較的多いに拘らず、増殖学方面の 文献に奄美群島に関するものが殆どないことは転任以来痛切に 酸じた一つであつた。

日本全体から見れば取るに足らぬ南端の島々であるとはいつても、八丈島あたりでは種々な面から調査研究されている。

電業群島は有用機海資源に乏しいかというと、そうでもない。 結局のところ電美群島に於て、増殖学的調査、研究が行われて いないためであろうと考えられるのである。

昭和20年以前、つまり、終戦までの大島分場には養殖係はなく、念時の資料は求むべくもない。戦後は、まべ真珠養殖、かき養殖を重点に実施していた。從つて浅海資源の分布、各生物の生態等は明らかにされておらず、増殖指導をするにも皆目、見当がつかの状態であつた

そこで、さしあさつての事業方針として

- (/) 群島の有用滤海資源の分布を把握する。
- (2) 各種、有用生物の生態を明らかにする。
- (3) かくして、大島に適した、増殖方法、時期、環境条件を梱んで、全沿岸に普及、指導する。

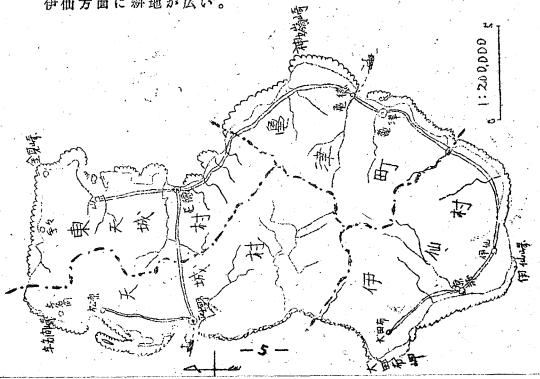
.ことが肝要であろう。

(/)は出腰の機会に出来る丈沿岸の調査を行い、現在まで、瀬 戶內附近、徳之島、与路島、請島の機要が判別した。(2)では/ 月以来、うに、もづく、3月よりふのり、4月より、まくり、 まべ等夫々月に2回位づく、その生長度、生殖時期を調査中で ある。

これらのことを連載とはいかぬまでも、部分的に減り次第、報告したいと考えているので各位の御比判、御指導を願つて止みません。

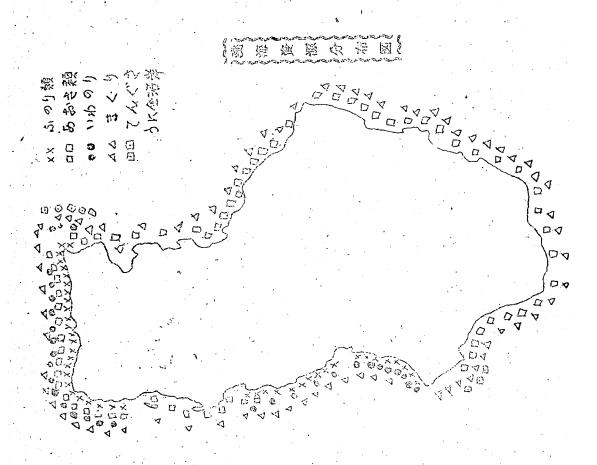
※ 徳 之 島

- / 位置·地勢 (第/図) ()
- ◎徳之島は、大島本島の南西約40㎞の位置で南北25㎞、東西12㎞湿の島である。海岸線の長さは8407㎞、島の面積は25333~で奄美辞島第二の島である。
- ◎島には、魯津町、伊仙村、東天城村、天城村の四ケ町村があり、魯津が中心となつている。又、徳之島漁業協同組合として、全島/組合を作り魯澤町役場に等務所を置いている。組合員は562名で魯沢道喜氏(魯津町長)が組合長、魯沢萬悦専務と、他三ケ町村長が交部長となり、徽成されている。
- ◎島の西海岸の大田布岬より平土野までは高さ20~100 の絶盤となり、波荒く他の海岸は珊瑚礁が発達し、特に東海 岸は仲合1000 でにまで隆起している。
- ◎河川は大小30本近くあり、離島には珍らしく陸水の多いことが挙げられる。従つて農耕も盛んで特に砂糖の生産量は海島全生産の半分を占め、大島のウクライナとさえいわれている。しかし、天城、東天城方面は山が多く、主として、急津、伊仙方面に耕地が広い。



2 有用邊海生物

- の効 物・こしきえび、しらひげうに、やとうがい、らなご
- ◎龍「物・まくり、いわのり、ふのり葉、ひとえぐさ、らおさ



3 分 布、及利用状態(第2图)

A & O D

○北海岸及び西海岸にのみ分布し。金見筒より多名間隔の翡瑚礁上に菱生し叉平土野~大田布師の絶聖下の岩礁に蔓生し叉

平土野~犬田布岬の絶壁下の岩礁に着生している。

- ◎殆どはなふのりで都にふくろ為のりが龜去している。
- ◎ 利用は空として食用に供している外。別科原料としても値か ながる消費されている。島では(よのりのことをKaShikya と呼称している。
- ◎生産量は不切であるが昭和3つ年東天鎮村会見時にある金見部、 春(86月)で約100℃位級集され/斤乾燥120~13 0円で取引されている。2~4月に製集している。
- B あおき類
- ○平土野〜大田産時で除いた金海岸に普通に見られる。あおさは原。 第の部署に利用されるといっても一部の人々だけであるう。
- (◎この中ひとえぐさる非常に多いがあまりかえり見られず、金見部落附近では探集していた。
- ◎死んだ獨 瑚礁上に一面に養生し。干汐時の澱 砌礁は恰も野菜 畑の如く緑一色となる。
- ◎島ではあおさ類を総称して OSa と呼んでいる。

0 1 6 9 5

- ◎島でまくりと添しているのが別に Myu Zumori とも呼ぶこともある。
- 日本の経算に見られるが重めには大口な中の海岸危険の夜 南岸、金見~与名間論、平土野神である。
 - ◎有用生物中、最も利用されて深葉されていて5~9月に標準 りが採つている。
 - . ◎会島の生産量は今の所穏めないが金見崎で160k、犬田布 瞬附近で350 〆以上とのことから、程当量あることがうか メえる。
 - ◎利用は豚虫用として一部島南海梁に1斤300円で小鬼され・・ るが島外に移出されるものが1斤250円(大田布)である。

- (D) てんぐき
- ○金見崎周辺に多く産し、伊仙沿岸にも僅か産する。 金見でTokorotenと呼んでいる。
- ◎30年に金見で200ヶ前後の生産で本土向出荷され10~1 12萬円の収益を挙げている。(1斤100~120円)
- ○4~7月頃採集されている。

(四) いわのり

- ○分布はふのりと殆ど似て、金見崎~与名園崎、及び平土野~ 大田布卿に盛している。
- ○一般に NOTi と称し、又は KUronori、 時には Asakusan-OTi とも呼ぶこともある。
- ◎金見~与名間沿岸の珊瑚礁上に多く幾生し。食用にされてい.。 る。
- ○大田布師附近では婦人が、60m位の屋を降りて採集しており、食用としても美味なため、高値を呼び、生の1斤100円、乾燥で350~400円もするという。殆ど島内消費である。
- (I) そ の 他
- ◎やこうがいは貝ボタン原料として移出され般の / 斤/80~ 190円である。島の各沿岸で採集されるというが量は確め、 られない。
- のこしきえび、あなご類は大した量ではない。
- ◎しらひげうには豚の飼料に利用されているが、食用にも供している。

珊瑚礁の切れ間の砂上に群 棲するので金沿岸に普通に見られる。

うに類は総称してGaZUといつている。

4 考 築

◎以上のように認海資源、特に海燥類が多いが、このことは、 珊瑚礁の発達による広い附着面積と相俟つて島には珍らしく 多い河川の流入によつて栄養分の補給があるからではないか と思われる。

- ◎資源的に見て、まくり以外は完全に採集利用されないために 豊富である。特にひとえぐさは、金見崎沿岸だけで20萬か らの採集があるが、これも部落の人々に云わせると、附近海 岸の生えている も採集していない状況である。
- ◎又、よのりも、はなよのりが主であるため、摘み方も面倒で 自家用として採集するのが精一杯で売れるとなると、もつと 多く採集されることは必至である。
- ◎このように恵まれた状況にあるため、増殖を行つて、増産したいという切実さはない。従つて、資源の保護育成に対する 考えもなく、手あたり次第に採集しているといつでも過言であるまい。
- ○ちなみに、ふのりは3月3/日まで禁止期間が設定されているが、1月下旬頃から採集され、まくりでも4、5月の潜れる頃には採集される状態である。
- ○島の人々は現在まで海のものについては何の制限もなく自由 に採摘していたわけである。
 - ◎これらのことからして、湯海資源開発の第一段階は、まず資源の利用、販路の拡大を必要とする。それには、一元的な集荷、斡旋の体制を整えることである。
 - ◎かくして地元民の資源利用の熱の高まつた時には避保護の啓 蒙、増殖手段による科学性の普及となると考えられる。
 - ◎今回、ふのりの増殖措施に行き(増殖とはこんなものだ)(海繰はこんな生活をしているのだ)と部落民に講習(?)したの であるが、人々は皆、驚異の限で話に聴き入つていた。
 - ◎徳之島ばかりでなく、電美群島はすべてこのような状態にあるので、我々としても根本から調査をするめると共に、漁民の中に飛び込んで頑張らなくてはならないと、肝に銘じるものである。

本界沿岸線の長さは1.353新(除大島群島)で全国第3位 に観えられ介燥額の養殖適地は各二に点在しているが従来採集 のみで増殖施策が講じられていなかつたゝめ各漁村ともその生 産力が底下し今日では全国最下位の状態である。

本県の沿岸で増殖され得るものは沿岸が砂浜地帯岩礁地帯内 湾外海等と徙つて穏々様々であるが大体いせえび、あわび、と こぶし、はまぐり、ばかがい(しらがい)、あこやがい(真珠 貝)、なまこ等で海燥類では、ふのり、てんぐさ、あさくさの り、わかめ、いわのり等が適当である。

翻て、一般漁業の経営を考察するに、今日の財界において、多額の資本と不足勝の然も高価の資材を要し、ともすれば休業せんとする苦況に遭遇して、又之と相俟つて赤字を出さんとする組合も多く見られる現状である。

漁村並びに漁業の経営は沖合漁業のみに依存することなく、之と並行して地元沿岸を最高度に活かして増殖を針り更にこれに 製造加工を加え所謂合理化した多角経営に転することが漁民の 福利増進となり、又漁村の発展の基盤となる。

兹で本県の沿岸性並に漁協の内容等から考察して、将来拡張 し得、なお組合の事業化としての可能なものを本号から時期を 考慮して述べてみたい。

※てんぐさの 増殖※

一 分 布

1.寒天は、てんぐさで製造され、我口輸出産業**上重要な地位**を占めている。

- 2. 天ぐさは、外国にも多いが日本沿岸に産する原源のものが 尤も良慎寒天とされている。
- 3. 国内各地に産し、マクサ、オホブサ、ヒラクサ、オニクサ その他数種がある。

三習 性(適地)

1.外海に面した海水の清澄な所

- 2. 生育地帶は干潮線直下4.5~~/ 2 m位。
- 3.天ぐさは、一年で憩草になつて胞子を作る。
- 5. 雌雄の性別のある有性体と性を持た四無性体とあつて有機 生殖と無性生殖により蕃殖する。
- 6. 有性生殖に出来た胞子を果胞子と云い無性生殖で出来た脚 子を四分胞子と云う。
- 7.胞子は岩礁に附着し発芽すると匍匐的に発達し座を形成し 更に新芽を出し枝を分岐して成長する。(体長1.2 m位の 幼体が同一の根茎軸上に数棕直立して居るのはよく見られ る。)
- 8.8、7月胞子から発芽し初め緩慢であるが冬期になると毎 に成長が早くなる。
- 9. 発芽後一年で9 以上となる。
- / 0. 懇 藻 は 2 ~ 3 年 生活 し 匍 匐 座 も 2 、 3 年 以 上 長 期 の 生 槽 力 を 有 して い る 。

三増殖の方法

- 1. 磯 掃 除
 - (a)干潮時、鉄ベラ 鎌等で雑藻 (フジッポ、インモ等) を輸去し胞子の附着面を作る。
- (b)大潮時の干潮を利用し、天ぐさの附着層の露出する部分から掃除する
 - (C)協同組合員、学校児童、婦人会員等部落総出で行われて ある処がある。
 - (b)時期は5、6月が適期である。
 - (⊕)掃除の際はてんぐさの座は残しその周囲は行う。
- 2. 岩面腦破機
 - (2) 磯掃除は時間的能力的に制約され掃除範囲が狭いが本機は磯掃除の機械化とも云われ能率的である。
 - (b)機掃除で完全に除去し得なかつたフョッポ、イシモ**凝其**

他の無異性を持続すると共に岩面を適度に損傷させ胞子の 没濟を容易にする。

10設水によって干燥後15m位までは簡単に出来る。 3投石塗に移放

(製造製造者或は岩石の間隙に石を投入して人工の附着面を増 成する。

- 10山石の18 W~54 W位を多数投入した方がよい。
- (C)丸石よりる附着面の多い三角錐形がよい。
- (D) 観賞の少ない処では、他処の親蘂を繩に燃込み石に巻きつけて投入する。
- (6) 時期は5、6月頃がよい。

光之 章 海 苔 種 子 場 開 拓 調 査

九萬田 - 已

来之章種子場は本県唯一の海苔種子場として昭和27年から 県内業者に利用され始め、28年には熊本から 種子場借用が あり良好な成績を収めて29年、30年と種子場需要は増加し、 特に30年は熊本県始め福岡、佐賀三県から種子付けに来場、 で場内外から注目されるようになつたが当地先も金国的な例 — に強れず干拓工事が本格的に潜正されて現在の種子場は今後利 肝できなくなると思われるので干拓予定地外に程子場を開拓す べく調査を行つた。

調查方法

調査定点(別図)を9ヶ所設定し、各定点には別図のような 施設をして3回に且り割竹(長さ8尺巾3分、厚さ1.5~2分) を取り付け15日後にそれらの割竹を取上げて海苔芽、箸敵 の発生状況を検鏡調査した。特に施設は3段階に分け0.5~1尺

間隔に設竹を設置してその上に割竹を水平に取り付けた。

試験施設の建込及び収上月日

建一路

第 / 回

10月14日

第 2

簱

10月/6日

/0月/8日

/0月29日

//月 2日

各定点别割竹施設水位

水位基準 平均汐位

-	段階	. st	1	2	3	4	3
	上	段	-30 ^{CM} .	+ 7.5	-22	- 585	- 70.5
	中	段	-55	325	-57	-101.5	-1025
- 1	下	段	-75	-655	-87	-1225	127.5

6	7	8	9
-39.5	-33.0	- 4.5	+31.5
-68.5	-58.0	-36,5	- 4.5
-705	-830	-555	-320

検鏡の結果

別表の通り

附着層

各回毎に定点水位別海苔芽着生数を図示すれば別図の通りである。

一般に、名種子場における海苔の附着層は、その地先において水平的に一定水体を示していると云われるが、今回の調査では、附着層の水位は限定されておらず、各定点によつて異つており、大体の傾向としては地盤の高低と共に変化しているものかようである。即ち地盤の低い処(調査の範囲内において)では附着層は低くなっており、地盤の高い処では附着層も高くなっていて何れる地盤上1.5~3尺の範囲に附着適層がみられる。種子場としての考察

1. 海苔芽着生状况

一般に海苔の種子付けにおいて種子付き良好と云われている 海苔芽数は割竹/寸当り7・8~12・3ケで、これより少な ければ芽蕎き薄く、多ければ濃すぎると云われているが、この 調査で一応5ケ以上の海苔芽着生を示した定点を挙げてみると 第 / 首 stan

第 2 国 Sturp sturp 3 sturp sturp

の通りで

おなれ、第3回目だけ/回

8年4は、3回共に良好な着生がみられ

5454、第2回と第3回の2回

Stat. W/B/S3E02E

St7.14、第2回と第3回の2回

368は、第2回と第3回の2回となっていて 654 (特に中段 下段) が着生良好で、次いで 855、856、857、及び 855の順で ある。

2. 響敵の着生状況

繁殖時期や附着層が〔あさくさのり〕のそれに似ていてことの 建込期日や極が適切でないと着生し易く。一度発生すると原除 し難いものであるアオニ リは軽視できない容敵であるが St/は、比較的少なく

Staは、上段やゝ着生、中、下最多し

Stat. Pagi

Stuは、着生なしか、又はやゝ着些

Stsは、着生なしか、又は少ない

Staは、少ない~やゝ着生

St7は、中下段やゝ多し

St8は、上中段やゝ着生

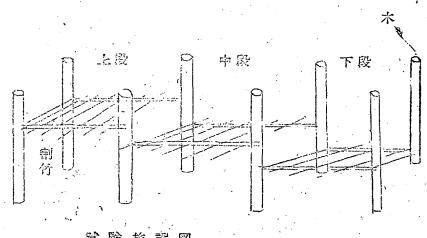
E19は、上中段や>着生、下段多し、と云う状態で川口に位する2,3,9と障害りのE16,7,8の中段、下段にはアオの 着生がや>多くみられる。

次いで【陸藻】は、普通〔ヨコレ〕又は〔ドタ〕と云われ茶カッ 色の能 泥状のもので、多く発生するところではた対に潜生し で海苔の潜生面を占領して種子付けを悪くするが、これは St3 中段(第2回目) St9下段(第2回目) に多いだけで他は何れも 少いか或はやゝ着生がみられる程度である。

フシツボも海苔岩生面を占領北多く発生する時にで対を非常に 重くするなど厄介な害敵であるが当地先では極めて少なく低水 位にノースケ(割竹3ー5ケ処を検鏡して)見られる程度で、 唯日も7(第2回)下段にノ3ケみられたのが最も多い。

結 論

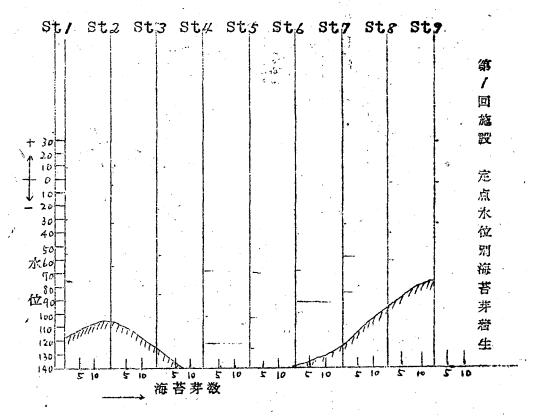
以上の調査だけから遊詢を簡定することは難しいが慈善男の着 生が比較的良好で智敬着生の少ないご4々を中心に5t5・6・ 7・8の鑑問は、一応電子場として利用できるものと思われる。 併し年ら時間川上端にある服粉工場の露線は海苔発寿をさまた。 げることもありうると思われるので長期間の建込みは懸念され るところであるが、この点については次類詳細に調査したい。

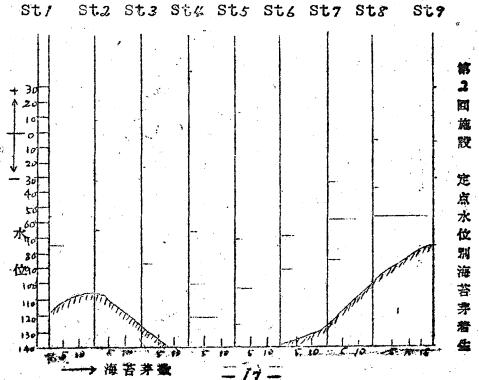


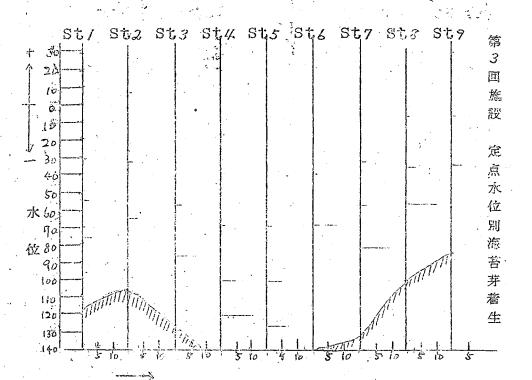
武験施設図

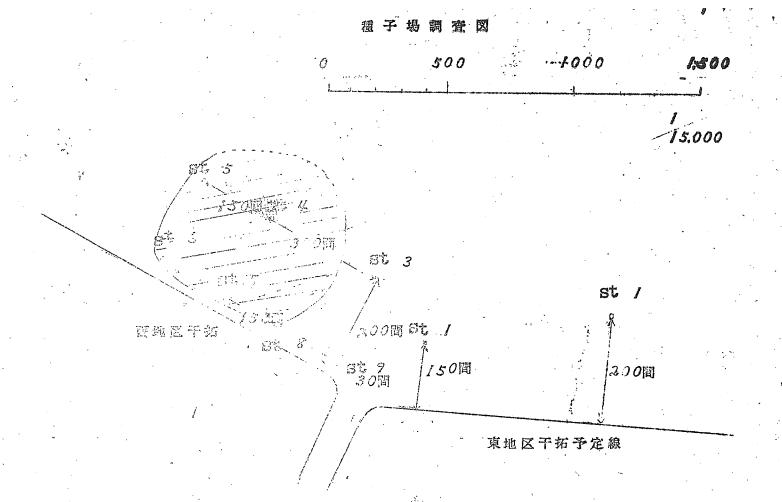
註 創竹の阿伽をヨー5ケ処候館して/寸長当りの平均海苔芽数を表わす〔アオ〕 〔硅葉〕は、なし、少なし、やゝ着生、多しの4区分とし、フジッポは検鏡したもにゝ全部を表わす。

- 16 -









华人日当山町小浜 鳥 浜 幸 造

このえあさくさのりの養殖をしてみてはどうだろうかと組合 長から相談があつたので湾内公地の実績を見て吾々の海岸にも 成育しない筈はないと早速同意して、女竹100本を水産試験 傷に御願いして12月14日あさり貝と共に持つて来て貰いあ さりを撒いて女行の100本を3名の理事が分け合つて私が3 7本を建込み外 本を北田、鳥場の阿理事が各個に建込を行 つた次第です。3名とも研究心に燃えたつていたことは云う造 もありません。

私は37本の責任者でありましたがこれについて体験の一端を 発表して皆様の御笑いに供したいと思います。

先づ12月14日午前10時30分頃建込を終り水産試験場の船に便乗して加治木町の別府川口に養殖場を組合長及馬場理事と3名見に行きましたが、その時色々得るところもありました

12月15日は早速昨日建込んだ場所に行つて見ますと様々の庭が沢山女竹についていたのでこの様に庭が掛る様では毎日 この庭を取除くことが第一と思いこの 臨取りを先づ日課とする 事に決めました。

12月24日になつてもまたのりの芽が見えないので少々気をもみ建込んである場所が最満汐時どの位あるか計つて見ましたところ1米80 ありました。そこで色々検討して見ましたところ24時間中8時間位しか海水に浸つていない様に思われましたので、沖の方へ移して見ましたが、この時神から岸の方へ向いていた女竹を岸から沖の方へ向けて、つまり反対に建込人でみました。

その次/2月の28日になつてものりの芽は見えて来ません ・で今度は又女竹を元通り沖から岸に向けて離込んでみました。 それからは竹はそのまいにして庭取りだけ行つていましたとこ ・月5日になつてもあさくさのりは見えず青のりがついて来 たのでピンセットで青のりを念入りに取除さそしてその部分をピンセットで摺つて見たりしました。 又この時も少し于出時間が長い様に思いましたの。 アス女竹を寝して見ました。 そしてこの時女竹の中間に巾30m深さ20m位の溝を堀つて各列に尿素を約800匁施して見ました。 この様にして毎日返取りに専念していましたところ/月/5日黒いのりが約50m位の長さに伸びて来ました。

この時は嬉しさが一杯で胸がつまる思いでした。早遠霎を呼びに帰えりこれを見よと云つて二人で喜び合いました。 そしてこれで試験場にも組合にも突顔で話せるとほつと安心した訳であります。 そして/月/9日には長さ200m余りに成長して、女竹の先端が地上に強れていたので、のりの重さに塩へきれず垂れ下つたものと思いかえる00m位の小石を女竹の根元に枕にしてやつたところ地上300mを保つ程度になつて参りました。

然し私は始めてのことでしたので手製の笠でのりをするこれを 加治木の中屋さんに見て貰いましたところ国子のようにできていると笑われた失敗談もあります。そこで早速中壁さんにすい て貰つたり又習いに行つたりして中屋さん夫婦には大窓御世話になり感謝しています。 そして私は畑遠いの仕事でもありましたので、最初は大変心配しておりましたがあさくさのりも陸の苗の様に可愛がり肥料を施し除草すると云う具合にしたら何とか育つて行くものだと思いました。 水産試験場長の話の様に今年よかつたから俺は上手だ今年悪か つたから俺は下手だと云う様な専考へずに、又今年も少しのり を作つてみたいと思いますので宣敷く御支援下さる様御願い致し します。

註 筆者鳥浜氏は鹿児島市出身で土木工学を専攻され長い官吏生活を経て現在隼人日当山町で半農半漁で団体役員等をしておられますが先づは晴耕雨就と云う吞気な生活の様に見受けられます。然し仲々熱心な事はこの記事でも判る事と思います。この記事で私が特に注目したのは、12月建込んだものを沙の引くのが大きくなるにつれて女竹を低くしたり又沖へ出したりした事でありました。 (前田)

應 児 島 湾·定 点 額. 測

小 松 光 另

營 言

湾内の気磁象を調査して海内協業の基礎資料とするため27年4月より下記によつて復調を行つて来たので優況を報告する。 日々の結果は省略し、10日平均値で大まかな傾向を知る事 とした。 観測位置は恵児島港防波提外であるため降雨等による陸水の影響が著しい事を予知顕いたい。

領潮場所 脑児島港防波提外

〃 時 / 0 時

ッ項目 天候 雲景 風向 風力 気温 波浪 うねり 水温 比電

〃方法 常法に従つた

) 目	筲/	没) `	月別	天候	類	变	(20.4~31.3)						
天族、	44	: 5	6 7	8	9	10	11	12	1	2	3 計%		
铁晴	7	. 2		5	1	6	8	8	4	.6	2 50 19		
晴	6	7	5	3 9	11	7	6	6	1	3	4 78 29		
華桑	•	1		4		2	 		1.	11/10	10 4		

	. 6	10	9	6	5	8	5	. 5	7	7	8	./3	89	33
小雨	2	1.	4	1	1	•	2	1/	1	T	2	2	17	6
লি লি	7	3	6	1.3	1				1		2	1	24	9
計。	28	24	24	25	24	21	22	20	22	14	22	22	268	100

概況

/. 天 **侯**

30年度の観測でみると表/より4月上旬は晴が多く5~7月上旬は雲又は雨の日が多い。しかし以降/月中旬までは8、9下旬を除いて夏秋季は好天の日が多い。

/月中旬から湾内では海苔製造に入るが/~3月の天候比率を見ると無はないし、雨は65%を占め年間の52%より遙かに高い。

2. 風 向

年間を通じてN国風が圧到的に多く約40%を占め次いでN及びS国が夫々10%となっている。 撃別では何れるN国風が多いがら~8月の夏季はS国風10~4月はNW系の出率が高い。

(第.	3 表).	月	別風	同:	題と	٠	(3 <i>0</i>	华汉符	-3/4	军3月)	٠.	•		
河流	44	5	. 6	37	ઈ	9	10	11	12	1	2	i ³	計	9/5	
W		2	2	1	}			1		22	2		10.	4	
WMW	1	3	1.				3	2			1	•.,	11	4/10	
WM	I	1	1		ſ		2	1		4	3	2	16	6	
NNW	3			Î			2	. 7	47	1	2	2	12	5	
N	1			1				3	6	4	5	6	26	10	
ENE	3	2	1	1	2	J	1	1	3	1		1	17	6	
ИE	11	7	7	7	8	15	11	11	11	2	6	8	104	391	
NNĖ		3		1	4	2	1		1		į		12	5	
·E	I	1	•		3		ŧ ,/	* .			f .	,	6	2	
														· -	

			. 4		,			i			1	ر مان	. /
sw ,	3	7	. 4	4	2		- 3			1	2	24	10
ssw	<u> </u>	1	4	1	12.5	. /						7	3
s ,		k	2	,	4.,						1	4	2
SSW	i i	2	1	,			-		-		-	3	f
·SW 2		1	2		1					1		7	2
wsw	1									1		2	0.1
		- !		;			. ,				3		
計 25	23	23	25	24	21	22	20	23	14	22	22	263	100

3. 水 温(表面)

年により相当の差がみられ / 0日平均でみても 3 度位の意は しばしばである。 すでに 4 ケ年の結果があるので一応 / 0日 平均、 を図 2 に示した。 これでみると 8 月中旬を最高 (2852℃) 3 月下旬を最 低 (1526℃) とするなだるか なカープとなっている。最高最低を中心にした / ケ月間の 芸は 失々 0.3 度以下で大した変化はない。

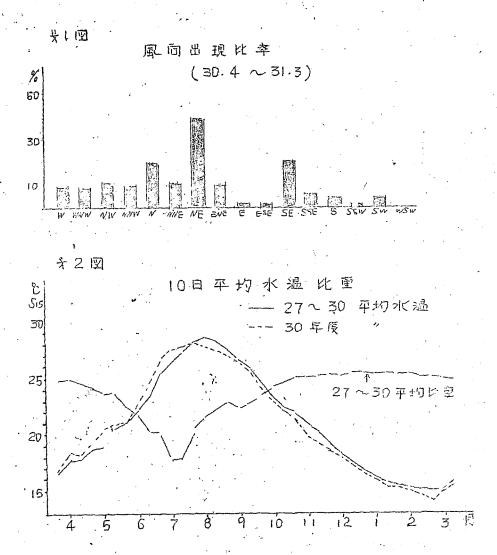
これまでの最高数 は30/0℃ (27年8月30日、28年8月19日) /42/℃ (28年2月9日) である。 他の年の最高最 は278℃、28.8℃、/43℃、/49℃、/44℃となっている。

あさくさのりの生育は8門前後が最も旺盛で13門が限界といわれているが海内では14門を落ることはなく、交河水の海合する河口附近でもせいぜい123度前後と思われ水温からでは湾内は昼育限界外にあると云える。

よのり胞子成熟期はマラッドで20~23℃、フタッで17~20℃であるが、湾内では前者は5月上旬からく月下旬まで後者は4月上旬より5月上中旬まで3ある。

黒螺貝の低温斃死限界は試験データはないが推定/4.7度位 と云われるから到底越冬菱殖は不可能という事になる。

4. 比 (表面)



赭言にも述べたが降雨による陸水の影響は特に地重に於いて大きくたまたま干潮時間別の際は特は著しい。 4ヶ年平均では徳雨期より急激に低下して月下旬から恢復に向うが寛秋はしばしば製来する熟帯性低気圧が多大の降雨をもたらすためて月をするとした大きな谷を形態する。

歌一澤は女化も無点ですの一立とはユニーユエンター4月が24~2.5を変化している。

西俣氏に物申す

東音。基

"ダマレル式のファマンならいぎ知らず、大方は自分の云つた こと、響いたことに対する反応からつた方がいいと思われるだ ろう。その反応は鬱成の方が御本人は気持が良いが、信の結告 は反対意見が、少くとも批判的意見でなくでは興味が奢しく少 くなるのは、之又やむを得まい。

いろいろの新聞雑誌の投譽欄を見ていると、ある意見に対しては必ず反対意見が出ることから見て、ごの世の中に会員一人残らず賛成と云うことはあり得ないようだ。かりに川何の理由もなくそばに居る人の夏を不意になぐべのは美いか悪いか川と問題を出した場合、川なぐる方が悪い川と会員一型の意見が出るだろうか。川ボンヤリしてた方が悪いんだ」と云う意見も出そうな気がする。キリストも川後の散るし云(右だつたかな)のほとを苦しだすべし川と云ってるじやないか。

本態のやわらかい部分をにぎわす意味で、前号の水産随想がに対して、批判的に、わざと反対意見の方を強調して寒いて見たい。もちろん西俣さんの御気持には同感なんだから、川気炎に思いつきを短時間に驚いたのに上げ足取をやるやつが居るからもう寄稿は止めにする川と怒られない様にくれぐれも予め御許しを乞おておきます。

"従機の連繋を密にすること""将来の不案を除き関係者が 思い切り働けるようにもつと相互扶助の精神を徹底させよう。 と云う提案そのものには全く異議を申立てる余地はない。

しかしこの結論を出された前提となる理由と考えられる実行 方法の迫究が文面だけから伺うことは危険であるが、相当甘い のではないか。

敗戦後の混乱時代に県の水産行政の権力の座? (当時は水産課だけしかなかつた。)に居られた西俣さんはその性格を 100%近く活用して縦横の手腕をふるい、業績も挙つた。

るの時代では酉俣さんでなければ今日のともかく戦前以上に 復真した本界の水産業の基礎はきづかれなかつただろう。しか し徳力の座からながめた統領の連繋が、野に下つてながめたと き、はたしてどうだろうか。程には少くとも酉俣さんが課長時 代より今日の方がパラパラでまとまりがない様には思えない。 たいして進歩していないかも分らぬが後退しているとは考える れない。

水産課だけしかなかつたのだから。おそらく水産に関することは誤長たる面保さんのところえ殆んど全部築まつたと思う。 しかしこのことから当時は、経機の選繋が、今よりもよかつに と辞せられていたのだとしたら間違いであるまいか。

"次に相互決動の精神"のことであるが、ある特定の一人だけを対象として、ある人又はあるグループで記念品を贈ることか、計算を建てるとかの程度のことは発起人の熱次には設める場に、対象で出致的容易に実現するが、特定の一人だけのことでも、かつと活後を不業なく経うだけの面倒を見るとか、不停定多数の設当者に広く超用することになると、同情とか相互共助の心ではどうにもなるまい。根本はこう云つた景哉的蓄意から出籍するものであるが、社会保障制度の徹底的実施なくしては実現しないものではなかるうか。特に97%の人々が食うために目の色を変えている現在の日本の各人の経済力で、道徳心や、善心にうつたえたとご

ろで物になるとは見えない。現状並に近い将来の日本では各自の職費を積極的に多遂(思い切り働く)しながら、自分のことは自分で始末し、多族制度の温室?の中に、最悪の場合はッちば拾山″投げ込まれ、老兵は消え行く″ことしか期待できないりではあるまいか。

**つきりお断りしておくが、これが良いと思つているのではない。 こでは西 さんに 驚成だが、問題は本県の水産関係者だけの同情心や 写真扶助心だけで解決することはできまいと淋しいことにが思うのである。

% % % % _%

次に水水磁技術を視"について参多してみたい。直 侵さんのご われる 「監視」がどんなグループからユザニの歌い地のエルニ 一個定に迷いて遊べると云う。最も本来なら避けるべき問題でか るが、持ち出されたテーマから引き出した自己批判として意思 を述べる。

原子方時代はぎておき、一般の工鉱器や農林業に比べて永立 業の技術は楽しく底いのは農念ながら現実の状態であると思う。 例外的に少数の進んだ技術はあるとしても、社会通念的に技術 だと云えるほど優重になれるものがたくさんあるだろうか。

森林、原野をかけまわり。鳥獣を石で、矢で、次いで鉄 御で 曜つてたんぱく食品として人類の留要が満されてかた間は許だ けの技術があれば良いから技術の発達する余地がない。又どんな複雑な機識を扱う語方があつても、原理と、より良いの職人の の道限を科学的にする心臓とを備えていない人は良いの職人の ではあつても良いの技術者がではないだろう。水産資源無限 論が、つい近年をで積行したのであるからこの意识での表別で からいる中型経緯といると思うが、これでは断じて良ろの人間 ないる中型経緯を本屋で何総誤業させたら良いか、 湾内の ないる中型経緯を本屋で何総誤業させたら良いか、 湾内の の光力は何ワットが適当か、 河貝の禁止期間は何月にしたら 資源を最高度に活用できるか。日く何々日く何々、技術的に必 シャッと目し得る人があるだろうか。

この意味で従来の、そして今も窓ちない水産のマアマス行政が行われているとしたら、その方面から技術軽視の意見終出るのも一応はうなづける。しかしそれで川技術者の自信ンタ乗川してはいけない。上記のような対果になっているのも土飲農林ともがつて人間と住むところを選にする水中生物が対象であるから、一層多くの年月と経費が必要であるにからわらず、却つて目光の解決を急ぐ日本人の冒証と経済力と事務家、政治家の認知されるからた。異給具格を生活の第一義に置き、権力の庭に一歩でも、近づき、平権力の庭にある人にへつらい、技術の改善や、日常の仕事の改良に熟意を欠く、いわゆる技術者建羅川も真の実力をに転向してもらつてからでないと川技術者違羅川も真の実力を発揮するのはむつかしく有名語実の単なる社交議院に終る心配がある。

サバス結局より見たテバ漁児(4月分)
肥後道庵

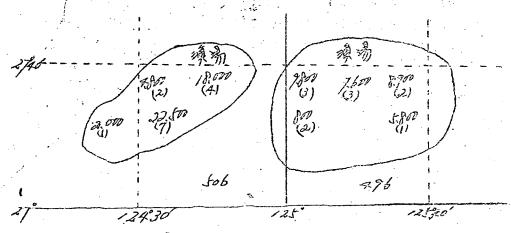
今月のナバ漁船入港船は3月下旬に引続きかなりの庭園を呈 している。

・漁場は上旬中旬は東支那海 N 2720~3740 T / 3426~ 12540の海域で頻繁し下旬に入り全機器船は佐多种漁業に 銀中している。

、神合漁場は水温19~20℃代を示し121。3日輸港で2000 、1~5.000mの漁をなしている。 各船額より漁児を範囲し また所では、漁群は多いらしいが餌付不良

一方佐多沖漁場は県内小型船も出漁し、小型船で4,5日標 業で400×~800×の漁をなじ、大型船は2日襲業位でん 000×~2000×位の漁をなしている。ここも神合漁場と 同機魚器の浮上悪しとの事、又県内延總船は相変らず最久島、 種子島漁場で500×~700×の漁をなしている。

漁場別、漁獲、各日の入港鉛は下記の通り



ちどり丸日記

川 上 市 正

今年も種子、屋久島漁業者符望のとび漁類ともなつた。はた して今年の魚群はどのような経路で接近するのであろうか。 種子、屋久島の漁業者近勿論のこと、関係機関の一大製心のま とでもある。

例年とびの出現が屋久島永田附近にはじまり遂次一憲馬屯島へ 移動していたところから経路としては永田、一濠、馬屯島の線 であると云われ、又このように確信されていた。

ところが昨年はこの経路に異状をきたし、いまゝでの永田、一 海冲合には殆んど姿を見せず、先づ悶毛島で初漁をみ、大部お くれて屋外島東部に姿を見せたのであつた。このようなことは 昨年だけの特異現象であつたろうか、そうではなかつたのであ る。 即ち今年の漁群も昨年と同様馬毛島で初漁をみ、初漁日 も昨年と同日の5月7日であり、その後昨年より9日早く5月 13日に屋外島東海岸に漁をみたのである。

現在までのところとび魚群の経路にたいし科学的な判断を下す 段階に到つてはいないが、これを究明すべく昨年まで、かるめ 丸によつて漁期直前の海洋観測並びに魚群の状況調査がなるれ ており本年はると今九によってN続き調査を実施することになった。

以下船の動きに従つて無難の状況を記してみたい

5月/日 馬毛島を径て最久島に到る定点//点を観測すべく四之表落出港。屋久島近海低気圧通過にともならSEの風強く馬毛島南の4点でやめ西之表へ、

周宅島近辺の表面水温は昨年同期の20.8~2/℃より低日の 20.2℃で2/℃~24℃とされているとび魚群のメイ遊にほままた少し早い扇あり、

5月3日 潤り7点を観測す。 矢笛鼻から永田神にかけての 表面水温は昨年の214~240℃に比して244~249℃ という高温で待に矢 背鼻の点では昨年より21℃高い249℃ という上昇よりであつた。 観測点698で計 3尾のとびをみる。 この夜一鏡長前。

5月4日 百之間での上屋久村水産振興館臨島田康。席上水温状況の副語或に地元のの徳間で魚跡深知となすため魚見経験者の東方と依頼。5日から梁船するとのこと、地元し或る業者は過去の実績から川東る年にきた場所には必ずユ・3年連続してきてかり。昨年の場合でも昨年一年だりのこのではなく今年もそうだろうが、即ち今年も局宅島がは平く屋久島では東海岸に押しよせる。というのが地元業者の大学の強調のようだ。

この夜例年の永田、一湊へのカイ遊を相定し一龍、永福国を 撥知すれど魚群の映像なく又とびのと点のをみない。

5月5日 一後定職では4月20日頃から殆んど毎日20~30見入調しており本日50見の漁港であている。昨年はマトビのこのような漁港はなかつたようだ。しかし1000尼以上入日ようにならなければ本給的ではないそうである。 この夜一湊の高崎早助氏乗船。酉の風強さため永田へは行かず宮之浦

例年八十八夜前后にはとびうおが岸近くにカイ遊し盛んに飛 *のがみられていたとのことだが今年はそれが殆んどみられて to to tra

5月7日 宮之浦の魚見船は今夜から出動するとのこと。《 のとび船は船たで等準備に太めらわ。昼間漁区8-10を探/ すれど魚群なし。馬毛に初漁あつたとの電に接す。

さらに8-10を探知、宮之浦NE8沖合で5尾みる。 -- [馬毛島へ、馬毛島南の幾曾根に小さな魚群あり。この曾根は 毛鳥とび漁には障害物であるらしく、ことでとびが産卵する。 シェン。 ヘラシ海紅に英国人・大学・東の新杰和へ先初された 南。

5月8日 源月日技師と一日変代。馬毛島周辺の探知をなっ 漁区20 溶液物に魚鮮をみる。

す月10日 第二回目領測を実施す。 時化もようのためた 点まで、(点から4点までは何れも前句より表面水温は1~こ で高い217~228℃でか点から7点までは表面水温で0.4 ~よどではなる2~238℃、25m層で1.0~1.9℃低い 207~21.9℃を示しておる。この夜安男仮迫

5月11日 国民発函方でトビ漁だるしい傑をみ、附近探光中の一獎集足船に連絡す。——海盧見船液魚群の箱促ができたかつたもよう。 この夜宮之館魚見船が帰川神で小魚群をみたもようなれど換岸しなかつた由。

5月10日、8点-11点を簡調す。 設面水温何れる前句 より26-27で低く215で-224で 声層で21~3.0 で低い 257-21.9で。

提爾樹よる沿岸水區り因しる水泥低下の一因か?何れにしても この急激なる低下は異常なる現象ではある。 夜屋久東海岸を 緑知す、志戸子沖合で鍛んにトピの弾しようをみる。初漁間近 しか。 しかし急探しにはヤジナできず。

5月/3日 午后5時 一機沖合にて

(これがピタリンで、最近発明の新茶を配合してございまして、風邪に大変効目がございます。えゝと、それからこちらが ケロリン、お子様方の腹いたには一番およろしいようで。どち ちも三複づゝお入れしておきましよう。こちらがメンタム、実 母散、それに神経衰弱に特効のありますノイロ一散・・・)

民間放送で聞いたことのあるようなないような妙楽の数々を 縁側に並べてしたり顔に効能を述べる。

私の家にも毎年鯉のぼりの矢車の音がきこえる頃になると毒消し売りのオッテンが現われるのがならわしになつた。

** オッサンが丁寧な埃拶を残して垣根の外に消えてゆくと、私は過去一年分の薬代三五〇円也を気前よく財布の底からはたき田したことに、軽い悔痕に似たものを感じ、オッサンにしてやられたと苦笑いが出てしまうのである。

それは、だまされた腹立たしさと、たくましい高端に対する 良歓の心と、みすみすだまされる間抜けな自分に対するおだや かな自嘲のいりまじつたうす笑いである。

こゝ数年来本県からの一部の季節的な出稼ぎ漁業はどうやら 常態化しつゝあり、この教授の云われたことが或程度は実現し つゝあるかも知れない。

どうも (出稼ぎ)とゆう言葉の中には物悲しさがひそんでい 。

出稼ぎ仕事が普通以上に言い知れぬ多くの苦労を伴うものであるからだろう。

原価二、三円の薬に子供だましみたいな名前をつけて、まことしやかな効能を述べたて、十倍もの値段で売りつけ〔御陰居

さん、その後神経痛の具合は如何です。] と御親切におばさんを感激させながら金をまきあげてゆくあのすばらしいしまとき、 芸のこまかさ。 毎日々々毎年々々同じことをコツコツと緑返してうまないあの強じんなねばり。 そして仲間同志の仁慈とでもゆうのか、診が統制するでもないのにきちんと崩れることのない秩序。

いずれも過去百年来強の重ねて来た〔出稼ぎ〕の伝統の見事 さといえよう。そこにはもう〔物悲しさ〕は消えてきたえられ た〔しぶとさ〕が根を深く下している。

毒消し売りと無とりとおよそ仕事は違つても〔出稼ぎ〕とゆう意味では通するものがあろう。

そして、どうひいき目に見ても出稼ぎ魂とゆう点で臨児島の漁業者は霽消し売りのオッサン達にはとても及ぶべくもない。

また〔出稼ぎ〕をしようとしまいと、彼等から学び取るべき ものは余りにも多いようである。

教授の言葉が当つていないに拘らず、矢張り鹿児島の水産の 前途は雑多さを想わればなるまい。 他国の娘に忽れられても 振りすてる程の道心を堅めて先づは精進々々。

長 崎 雄 威

Y·T生

5月11日第10回西日本海洋調査技術連絡会に出席**生れて始めての県外出張であり、長崎市であつた。

長崎駅に到着するや、大雨の音と、レコード (長崎の鐘)とが良数をかなでる合唱になり一人淋しくぼんやり放送局を眺め、もうなにかしら鹿児島に帰えりたい気持ちになつた。しかし旅費は概算払で少しはフトコロも温いので、なんとかなるだろうと、同りようの激励の言葉が脳裏をカスめ、どつこい薩摩隼人の意気だと、ちょつとばかり思つて、手を上げるとちち年型の大型車が目の前に停つた。しまつたこれあ一大部とられるぞと思

つたが、もう遅い、落ち着いて田舎ものらしくするな、と自分に云い間かせ、〔南山手荘〕と一言ぐつと息を飲む、旅館の前で停ると選らやんは200円を請求。これあ高いぞと云つたが、何食わん顔をしている。

宿からの眺めは良く、はるか彼方に造船ブームに乗つた三菱造船のハンマー、溶接の音高らかに響き、その片わらに7000トンから70.000トンの貨物船、タンカーが忙がしく艤装中で、手前にはトロール船、手線船がすらりと並び、さすが感無遠であつた。

夜は三年ぶりに会う友人二人が来、学生時代から現在の矛盾を語り合い、夜更も知らず、西田場長に全く迷惑がけた。社会

会議はさすが優秀な人達ばかりで占められ、自然緊張せざるを得なかつた。座長は気象台長、頭は坊主で小型で歯のない、 がよつと風彩のあがらない人で、この人がと第一印象だつたが、 時間が経つにつれて頭脳のさえているのには驚き入つた。 見かけによらないものだ、辻田博士の脳の良さには薄海のアンシをある。村上技官は東海のでははおよびない、 遊かえられた。私は「東支那海のさば漁況について」をちよつとばかり発表したが、 鹿児島語を標準語みたいな 寛楽に直し、 その上学者連中の前で話を するので、 今にも規だった。 終るともう、大丈夫、 すつかり 落ち着いた。 私の右側に 座っていた人は、私の分のお茶まで飲まれ、 手足がよるえていた。 たいは容易ならんぞ気付いたらさぞ赤面されるだろうと、 私は すーとその顔を眺めていたが、 本人はないのことなく、 下と前を変互にあごの運動をされていた。

会議が終ると自由だ、その夜は一人ならぶら歩いていると、中学二年生だという坊主から遺案内してもらつた。繁華衛、余りにも含まれた山、オ線大人屋敷跡、オランダ坂、等を廻り実に投が歩いのに疲れた。翌日は、友人と日仏合作映画〔・・・・の。ゆ。 の の カーションを見学に行つた、ダニエル・ダリュー - 34-

岸原子の蒸減をこの目で眺めた、さすが国際女優だけあって、 鹿児島県でみたものは忍一人粒のものだろう、握手したと云つ てき本当にするかなめ。最后に放送局に登り見ることのない畏 崎に別れを告げた。

東支那海における "さば"漁況について 庭児島県水産試験場 徳 留 と

(昭和31.5.1)

鹿晃高港における水揚高を見ると、山、谷の反覆変化が見られるが、之は漁型上において、如何なる変化が見られるのかを、 検討して見た。

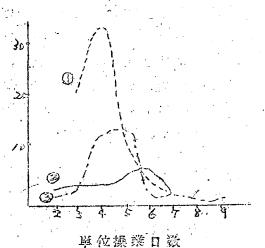
東支那海特定海域を対象とした(最林海区 503. 504. 494. 484 附近)

漁船が臣港一揚業一帰港迄を単位機業期間とすると、漁場が一定の場合、往復期間は同一なので、操業期間のみが問題となって来る。

(A) 永揚高の多い の山の部分と 回底い谷の部分の漁獲高が 一定(平高家蔵を呈)している。

先づ期間(何とした)を比較して見た。(fig次頁じ) 冬泉間の年金振葉目数に対する複業隻の頻度と、同一期間内 の認識最高に対する名単位機業日数毎の漁獲高の百分比を求め 漁運状態を駆として比較するため之を漁獲の多い順に並べて (並べないと比較しがたい)直交多項式に依つて比較した。





2 3 4 5 6 7 6 9

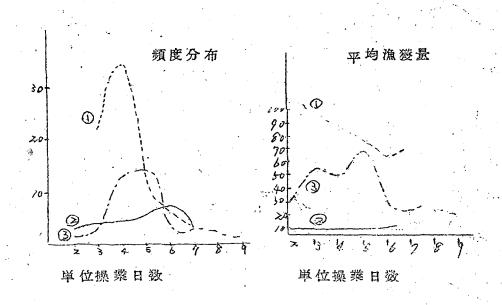
単位操業日数の順位

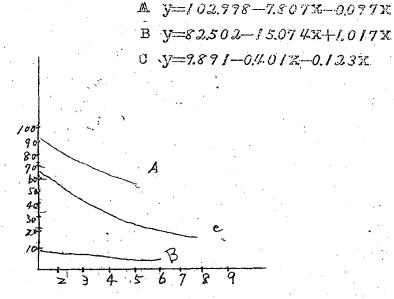
頻度分布では各の一〇一〇型の特徴が現はれるが多項式に依る 方法ではその差を把握する事が出来なかつた。

- ϕ y=48.90/-8.895X+0.358X²
- Q y=37.930-4486x+0.104x2
- 3 y=78.900-24439X+2833X→0.115 X この方法に依ると入港船の多い時は、水楊量も多く、入港少い時は水楊高も少い。從つて漁児そのものよりも、入港船の多少に依る変励も考えられるので次の方法に依つた。
- (B) 中型船以上の一隻単位操業期間の平均漁獲量を出して比較した。 (トン数、入員数不明の為、隻当りの算備平均とした。この点に問題があると思はれるので、御指導を願いたい。期間は前と同様、旬別である

財別にやると変動激しき為、上述の頻度及び平均漁整高をその まゝ使つて、単位操業日数 (2日間、3日間、・・・・) 毎にグ るでな事くと比較し難いので、漁獲の多い順に並べて、直交多 項式に依る比較を行つた。

この方法では、頻度分布、及び直交多項式に於て、山、谷、平衡一a期間が特徴を示す。それで今後之を、盛漁、不漁、平衡型一aとする。

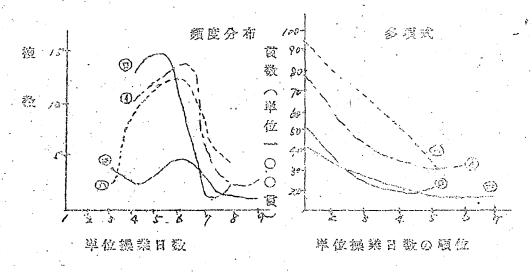




単位操業日数の順位

この場合 毎年行りは先に示した平地のと類談会布及び多次式 に於いて阿若とも殆んど一能になつて来るので 母を例として挙げ 挙げる。

(平衡型は流變量の少い場合に多い)



- 0 y=134782-28601X+2824X
- ® N=75.824-27.03/X+3.207X[™]
- Ø Y=78.077-3.17/X-3.427X-0.110X³
- ⊕ y=51.963-11.570%+0.938%

. これに依ると頻度分布では

半陸漁を示す期間は単位操業期間短い船多く(4日が最も多い) 不漁の時は期間が永く(6日)船も多く、平衡はその中間型を 示して、二つの山を示す場合が多く、その山の日数は、ずれて 来るが4~6日の中間型が多い。

急酸上昇と平磁は型としては同型である。

多項式の比較

産漁、半地、上身、下降、不強 の原上なり、「平衡は上鼻と、 下陸型の門に以している。」

上昇と下的は 強組型が顕微しているが、平均候が異つている。 他の方は無温性として合々整微を示している。

高次式の日本の公介方法が引らなかつた為、之を返離的に延付。
けし得なかつた

: 25 .07

一、以上應見島入港船より得た資格より企業的な保険や選び(種々な考え方、見方がうると思うが)一型オーレエニに近べた強 祝型を作つて見た。

一、原度分布に考察すると

- ○監備期に於いて単位協議日刊少く問題が行いる
- 〇不漁類に於いては草位提際出教長く、独伝教が少し。
- ○平衡額では不漁肉より単位資常は張川見く近日費も少く、 漁業線索と見ばれる。又はつの由い見られてのお締然であ て。上昇と半個は高んと同様である。

三多項式については

- ○平荷型は急渡上昇型と意識で原置の中間に並立る。
- ○意設上昇と急設下降とは型が領域しているが平均値が長つ でいる。
- ○盛瘟、半旦、上昇、平復、下降、不漁の原となっている。 四ととであげた各党問題は設定分布。及び多項式に深いて特徴 的な型を示している様である。

一段上一

うしお湯 だ寄せて

中野利煎

かうしる窓が上ろいては文章で本語第三号、佐四号に詳細されたのでうしる意勢どんなものか充分認識を採めて致いたことと と、でうじる意勢とんなるのか充分認識を採めて致いたことと 思う。 然し「後″」しゃ点を如何に育し上りしてつたらよいかと云う ことは饗産、販売共に却々難かしいことのようである、だが切 角生れた″うしお煮″を何とかして一人前にしてやりたいもの である。

この"うしお煮"が優秀な保健衛生食品として価値が認められた以上貯蔵が或程度さいてその上値段が安ければ必らず事業としても成り立つものと思う。

それでは今後ッうしお煮りをどんな方向に持つていくのがよいかを検討してみることはあながち駄足ではないと思う次第である。

先づ鶴一に取り上げて見たいのは原料魚の問題である。 ″うしを煮 ″の原料として何魚が一番適しているかを見出すことである。 現在まで試験したものではさばとあじだけでこれが最上のものとは考へられない、要するに多類魚であり魚価の安い原料を使用することが最も望ましいのではないか。 そこで本果特底の多種魚として熊毛地方のトビが考えられるのである。

この塩干トビを刈うしお煮りの原料に伝染出来たらどんなものであろうか、近く漁期も始まるので是非共この試験をやる必要があるう。

現在まで試製したサバとアジについて見るに天々調理、調味に 特徴ある持味を生かすことである。サバの場合可成魚体の大き いものとアスの如き小魚に於て塩味の加減が問題である。

一般大衆の嗜好を充分に考え之にマッテしたものに持つていく ことが製品完成への要とも云へよう。

さてこの〃うしお煮〃の販路の問題になると製品を作ること以上に困難さが予想される。これも何とかして軌道に乗せたいものである。

現在県漁連の業務部を通じて販売の斡施をお願いしているが未 だに確固たる販売方針もたつていない現状である。試験場自体 としても販路の目標を定めることが第一であろう。

最終の目標は一般大衆であつても先づ集団的な消費者を対象と

として病院、学校、自衛隊等に直接当つて見るのも一方法ではないだろうか、切角こうまで来たパうしお煮パを一人でも多く知つて貰つて国民保健衛生食品としてもてはやされる日の一日も早く到来するのを期待して止まない次第である。

附 記

目下新製品 "うしおソーセージ"の製造試験中であり抗性物質により安全度を高める試験即ち "オーレオマイシン"による試験結果を本号において発表する予定であったが薬品の入手が出来なかった為発表が出来なかったことをお詫びする次第である。

廃 藥 物 利 用 雜 感

弟子丸 悠

(廃物利用)戦時中もではやされた言葉である。だが戦後雖 も、貧乏な日本にとつては真剣に考えられねばな ない問題で ある。

0 0 0

一般に廃棄物とは使い古して、要らなくなつたもの、壊れた もの、どうにも使い様がないもの等さ、所謂廃物を指すことは 判つた話である。

近い例で鹿児島市の淵崎窓岸に捨てられる塵、あれる又廃薬物である。何年前からあそとに捨てられているか、知らないが毎日々々清掃夫が遅宮殿は海岸線の形を変えさせる程蓄積、埋立てられ、下子な干垢工事等及びもつかない程、莫大な量に上っている。

ルよくもマア、こんなに沢山塵を・・・、と思う傍、ル之を何かに利用出来たらナア、とは誰しも考える事だろう。この處を どの様にして何に利用するかは指くとして、水産廃棄物につい て考えて見よう。

さて魚というものはハラッタ、頭、骨を除いてそへ柔い身を

唯べる。のだとするのが普通である。骨のついたま、調理し、 唯べるのは、雌詰の外には考えられない。だが雌詰としても頭 や、パラスタは拾ている。だから集約的に多くの魚を加工処 理する地方ではその廃物の処理に頭を悩ますのである。普通の 塵や汚物と違つて、相手が筋り易いものだし、何処にでも捨て ま良い様な代物でもない。

庭児島県の枕崎は鰹節の産地として、全国的に有名で、こうに水場を加る輝は最盛期で130萬貫、年間を通じて270萬貫、そのうち20%は鰹節の原料として、市内で処理される。 従ってその時の廃棄物を原料魚の約35%として見ても、年間に素てられる量は莫大な数字による事が想像される。

最近、枕崎市ではそのうち頭や中骨を市内の乾燥工場で乾燥粉末にして、飼料を製造しているが、内臓の方は時期に依つて塩 干を造る外その殆んどが利用されていない。

1. 复数 强 数 30

最近、A、P、FとかビタミンBとか云う言葉を耳にする。先日の毎日新四の記事に鹿大水産学部の一本の教授が海の中のビタミンBを調る方法について発見した意味の事を率じていた。A、P、Fとは〔動物たんぱく因子〕と云う難かしい単語の顕文字を並べた暗部であつて血を造り動物の生長を促進させる効果を持つている。

この問題はいまから30年位前、動物の肝臓が悪性貧血を治すのに良く効くと云う事から始まり、世界の学者が積々研究を重ねた結果、肝臓の中に自血球や赤血球を増加させる物質がある事がわかつた。

ところが約10年前アメリカで、牛の肝臓4トンを原料として約1grの〔赤い結晶〕を得た。

之が〔赤いビタミン〕と云われるビタミンB、変動物の成長を促進させる大切な作用を持つ事が明らかにされた。そしてこのビタミンは人間に対して効く量が 1000,000 Br 程度で良く、他のビスミンが 1000 Br 程度の量でなければならないのに比

べ非常に盛かの量で充分にその目的を果すのである。そして、現在ではこの〔赤いビタミン〕がA、P、Fの主な成分である。とされている。この様に貴重なビタミンだが4トンの肝臓から 僅か / ET しか採れない微量成分である為〔何か肝臓の外にこのビタミンを多く含むものはないか〕と云うことから研究音達は魚類、海鰻、その他あらゆるものの Bを剥つた結果、魚では肉よりも内臓、海鰻ではアサクサノリ、その他、鳥の翼や汚泥等に多く含まれる事が分つて来た。

0 0

税崎(とは限らないが)では経節業造の時、捨てられる内限の処置に困つている。而もその量は糞大なものである。魚の内臓にはピタミン B₂その他の成長促進因子(A、P、耳、)を多く含む率が分つている。ことで当然考えられるのは、その刊用と云う寧である。

既に北海道ではイカの内臓や、無計、内臓を原料としてビタミンBを多量に含む (S、P飼料)を製造販売し、国内はおろか海外にも輸出、工業的に成功している。

事業的に成り立つのに必要な、永行の第一は累得がた易く得られる事、その量が多い事、しかもビタミンB及の他のA、P、P、を多く含有する事等である。就能の経内臓について考えた時、その量を集荷の点では一応良いとして果してどれ位のビネミンBがその中に含まれているかゞ問題になって来る。当場では去年からこれを取り上げて、各職器別にその量を測定しているが、決して北海道のものにエケを取るとは思われない。今週報つた所では、その含有量は獲れる時期に依つて変つて来

るが職器期の含有順序は変らず、一番多く含む器管は心臓で、 ・・その次に影の内容物。肝臓、幽門垂、胃の内容物の順で消薬、 卵巣にはあまり多く含有されていない様である。

各職器別では今云のた通りだが、これが二種類以上の器管を混ぜた時や、その器管の分解処理方法とかに依つて、又その最が多くなつむり少くなつむりする事も予想される。どうしたら一

番高い含有状態のA、P、F飼料が得られるか。これからの研究課題である。

現在、時代の脚光を浴びている。この廃棄物の利用と云う事には種々な面から考え合はせていさいか遅きに失したの感があるが何れにしてもおろそかに出来ない問題を含んでいる

乾燥微を取り上げて(其の三)

木 下 耕之進

※ 乾燥材料について

非常に 重要な材料については乾燥の研究が行はれ、乾燥する上に必要な性質も判つてきたが未だ多くのものは研究されてないために、最も適当な乾燥方法や乾燥装置を知る為に必要ないろいろな事が判つていない。然し多くの場合似た様な作りの乾燥機が種々の材料の乾燥に使用されるものである。

では各材料についてどんな乾燥機を使用して乾かすべきか全般 にまたがる事は出来ないが水産物加工に関係のあるものだけ取 り上げてみたい。

※ 動物質材料

肉類、肉類の持つで居る貴重なたんぱく分を熱の為にその性質 が変らない機にするには乾燥する時の材料の温度、言い換えれ ば送風空気の温度が大体∜ 0℃を認過してはならない。

この二つの事を考えると真空乾燥が適当して居る。真空乾燥では空気中の酸素の為に肉の性質が変化する事もない。 肉類は今迄あまり大規模に乾燥が行われておらず主に罐詰や冷凍によつて貯蔵されている。 肉の罐詰ではビタミンが少し変化する位の温度が用ひられる。冷凍法では温度が余り低い為(肉質)は変化し、又厚つたものを溶かす時に出る、肉の汁が失われるのはさりられまい。 乾燥肉は(今迄)の方法に優るとも劣らない様である。

然しながら乾燥肉を作るには原料肉を餘程細かく砕かねばなら

す、冷康法の様に丸のま、一又は えと云うような大きさではとても乾燥できないのである。今迄の肉の乾燥では水分をたやすく除くため食塩を加えて細かく砕かないで空気乾燥をしている。従って長い時間空気に触れているので脂肪分の多いものに対しては良くない結果になる。次にくん製肉を作る場合は〔煙道ガス〕によって水分が減り肉が硬くなるどちらの場合も乾燥時間が長いので栄養価値が失われ消化し易い肉の軟かさが無くなる。 屠殺場における残肉及び肯はネッ和乾燥機で肉粉に仕上げる、 此の時は乾燥と同時に脂肪を除く事が出きる。

低温乾燥を行い又発生する悪臭を室の外に放散せしめる様操作は主に真空式であることが望ましい加熱は蒸気套式に依り乾燥室に取付けた^{本ラ}和装置に適当な粉砕をも兼ねる式のものに作れば一学に粉許若燥が出来る。又胃や内臓粘は寒音の配食として乾燥される。此の時はその臓器が持つ消化酸素を殺すため最高温度を65℃迄上げて乾燥をする。

※ 魚 類

魚類の乾燥温度は大体肉の場合を標準にすれば良く自然乾燥された食肉はたんぱく質が殆んど自然の状態のまゝ保たれている。乾燥室で三日間位乾燥したものは自然乾燥の様には行かず幾分たんぱく質が変化する。出来るだけ、自然の状態の乾燥を得るにはなるべく乾燥時間を短くせればならない。又人間の食用には適しない魚及び魚屑を飼料や肥料にするには之をかゆ状に潰したものを先づ真空円筒乾燥機で乾燥し次に之をほう和真空乾燥機で魚粉の形に乾燥する。この様に真空式にすれば製品は良くなる。然しこれの経費を安くするためには蒸気套式ほう和乾燥が使用される。この様に何れの場合も乾燥室を気密にして、発生する悪臭が部屋にいつ散しない様にする。

※ 植物質材料

澱紛

澱粉はどうもろこし、小麦其の他の広く植物界から得られる澱粉の白色を保ち又熱の為、糊にならない様にするには乾燥温度

はちので以内で操作しなくてはならない。真空乾燥を行へば特によい品質のものが得られる。澱粉は乾燥する前に水分を除く 粉末濃粉を作るには裏空式籌型かくはん乾燥機を使用する。 粒状の澱粉は箱形又はバント或はトンネル乾燥器が使用される。 ※ 無機材料

- 塩類

工業的に大規模に乾燥が行はれる塩類のうち食塩、塩化ベリウム、塩化石灰、塩化マグネシウム等は一般に温度はさ程問題でなく、且吸湿性であるから比較的高い温度且、低温乾燥を行ん。塩化カルシウム及び塩化加里は空気円筒乾燥器で又塩化ベリウム、食塩。膏酸加里及びカセイ加里は真空円筒乾燥器を使用する。塩類の乾燥には廃気の除塵装置は是非必用である。微粒が飛散すれば頗る有害である。

大体これで乾燥について一通り簡単に説明したが要は各地方に よつて天候が違い又被乾物の品質が違うので一概にこれでなく てはならぬと云う事は出来ない。これを基準にして各試科 (被 乾物) 毎に研究究明する事が今後の水産乾燥加工のあり方であ ると思う。

本誌二号。四号、五号、と三回に分けて、乾燥の基礎的な事 について響いたが、一応これで打切りたい。今後は本県に関係 のあるアダ、ヴェ等。実際面の乾燥法と云つたものに触れて見 たい。

製造部便り

4月16日~30日 12年節油焼防止試験

本等沿岸漁業部が送った29日継を原料に供した。出 **処案** 性がはつきりしている関係もあって興味ある試験成績を あげたばかりでなく製品は果漁連から東京にサンプルと して送られた

2.ソウ田鰹生化学試験

恒例の商水研委託で特に今回は資料がよくて実験**効果を** 発揮した。

4月20日~21日 トビ加工対策協議

界漁運業務部で本年度トビ加工の技術につき協議した。 改善すべき点は択曲あるが緊急なものは乾燥機械を設置 することである。

4月24日 来訪 共同通信堂旅記者

n うしゃ煮ოの魅状につきゃたづねが**あつた。**

- 4月28日 照会 南日本新聞報等部中原記者から りうしお煮りを製造するときは通知してほしい智能はれ た。

4月30日 / KAC-50 魚類割蔵機の姓龍戦団 本試験は既に去日実施してその効果を識つたのであるが、 長時間選転 (大量操作) に対しては疑義を認めたので。 真アジ数十箱を試験した

絽 果

小型魚の短時間運転には支障はないけれども実践的には 電動機が弱小でスュースな運転持続はできなかった。 2.大島登場から塩もすく二個者被

包装袋による輸送試験の目的で送られたもの

5月1日 / 宗勤 南星式乾燥機代理店川畑氏 熊毛の1ビ加工に本機の設置方要請あり 2、報告 水産課加工係へ

> 昨日のAKC-50魚類割截機の運転頭末と試験結果を 報告

5月2日

山川高拉水直科生徒35名。根本先生引率、本場を見学 倒炭の弱状で見るべきものもなく気の塞であったが、将 来の水産中型技術者に望む意味で、本県水産加工業の実 態に本場が対処しつゝある製造試験の概要を説いた

5月7日~9日

アジ塩干油焼防止試験

天候不順で乾燥条件の悪い情勢下であつたが立塩液法で 敢行した。三日目の午後曇天の半日だけ日乾したのであ つたけれども良い成績を得た

A、P、F試験

枕崎水産高校から鰹内臓を送つてもらつてい今日から向 う数十日間は化学と細菌試験に始終せねばならなくなつ

〃うしおソーセージの製造試験

しお煮りの一行器を応用し魚類だけを主原料とする フィシュソーセーシの製造試験をなす。生産コストが低 で加工ルうじお煮りに類似した特徴があるためルうし 煮二号のと名付けられるような新製品が創造された。

5 月 1 0 日 来訪 京都大学藤村教授 池田研究員

本場で試験中のアジ塩干油焼防止法について更に検討する

文哲 る資料を得た。

5月/2日~15日 鮮度保持用パーチメントの加工

並近く出流する服繭丸でまぐろの鮮度保持試験に供するた のパーテメントにオーレオマイシンを定着させる作業を

想这些知识

5月74日 特許顧は受理された

かねて特許庁に出願中のッうしお煮りは5月10日附、 7 0

医性髓性炎 经营业 人名英克

製造による 敷きて花見の

座に案内

竹添魚林

奄実の島は降つたり照ったり。・・・・ 梅雨の雲間から、時々 のぞかせるコベルトの窓。そして濃緑の島蔭、カッと照りつけ、 る太陽・・・。もう真夏が来たようです。

〃うしお〃編集にあたつては毎度大変の喜と存じます。吾々、 島の職員(?)は毎月送つて来るいうしおいお非常に楽しみにして いるもので、一頁から編集後記まで吸われるように読んでいま

最近、編集印刷にもかなり進歩したようで、内心嬉しく思つ ております。(特に4号の印刷はよかつた)。吾々のような最 も関係深い者も印刷の良否で読書窓が左右されるのですから、 他は推して識るべく。今後も御努力お願いしたいものです。

内容としては、先づ〔巻頭言〕次いで随想ものゝ〔寄稿文〕 そして関係の調査、試験報告といつた順序に読んでおるようで、

- 又、各部の〔メモ〕は、その動向が手に取るようにわかり、 見逃がさぬものゝ一つです。

さて長たらしい原稿をこゝにおとゞけ致します。よみしくお 願い致します。特に第一図は書きにくいかと存じます。ユキス パートに頼んで、念を入れていたよくように具々も願う衣館で **\$**

四月に入つてから、ハブ公を二匹見ました。たゞし殺したも のです。4、5尺のもので死んだものにも、何か近よりたくな い恐怖を慰じます。

島の生活にも慣れ、これからうんとやろうと思つております。 今後ともよろしぐお願い致します。

水産部長が梅雨の先触れと共に本能を果すために寝室を求めて、屋久、種子ケ島近海へ来 っして来る、とび魚の漁業状況を 五殿で受取りたいとの趣旨から、随行を命ぜられたと、場長か ら承る。これは困つたと思わすつぶやく。

命これ**従うは宮**仕の本分、早速船路便を調べ、場長の援助を得て日程の草案をつくる。

今日は天候の急変で、引返すことなく、どうやら平穏なうち に西之表へ入港、文庁、町役場を訪れる。町長は前田部長と一 中の同窓とかで話がはずむ。

西之表町役場の意物は実に立派で、町長室は熱帯植物の鉢植 小鳥の配置宜敷く、駸望という、町長の話のよさという一寸菱 望を載する。

年末頃には完成するであろう試験場の趣物の大きさを胸算用してみる。家並からして生活の困憊さが思いやられる一湊港を後にして~ソの緒切つて以来始めてプッカル欄干のない板橋にはエナリとする。

窓外に太つた若フソを眺めては、終戦直後の食糧雄されからの越し方に想をはせているうち、シャ降る梅雨に煙つたぶ京都 とも思われる宮之雄につく

村長禄が柔和な話張りで村政を語つておられる。時折前田部 長が農地部長時代タッチされた開拓地の話が混る。

夕類になって、昨年より / 0 日間早目にとび魚群が見えたと 朝報が伝わり、早速水産部長が恵比須様に昇格し、傍らに控え る柔道五段 ? の真野水産課長がその容ぼうからして大黒様に操 せられる

街の酒返りを後に、降りやまれ夜半の雨をついて湧 腔出動したが、水温が低目で本格的産卵に到らなかつたが、先達漁船に本年始めて据付けた魚探の飲力によつて三萬尾の初漁を得ることが出来たと船上から合羽姿の山口組合長が笑顔で伝えて下さる。早速朝の食膳にとび魚のさしみを供えて載いて舌鼓を打つ

とれで恵比須様、大黒様も荷が軽くなつたことだろう。 早朝東風のザワック雨空をついて鉛は、口之永良部島に向けて

出帆、前田部長には早目に船長ペッドに潜り込んで貰って、こ ちらも要心して適当に横になる。

口之永良部島本浦は終戦の混乱期には密輸の中継地として繁紅したとか、今は昼久島近海に出没する中着船ののぞき窓に窓は 5 し 5 ~ 6 組が在泊している。

当地には漁業らしきものなく単に漁の姿が存在する文で、愛く 意慾的に漁業が勃突する気運すら見至びっれない。

連日の降雨ににごつた港をパイする。

△ 在泊の巾着船へ申上げます

禁止区域での操業は傾んで下さい。 と縁返す中敷質局景®系アナクンス振りに独り微笑む。

島影を過ぎるとガブリがひど相なので水産部長にはマグラ為を 急いで貰う、屋久島海狭に来たのだろう、久々の乗船には翻籃 こたえる。 梅雨空に負けない様な園々しさを後頭都に触じつ 5 栗生に上陸

往年駆、ナベ、つり漁業に斬界の先駆を動めた当地もその意気に余韻を残すのみで完全に時代に置き去りを食つた形である下屋久村から 高配を頂いた小型自動車に小学校から帰りた椅子を持ち込む。

赤土のヌカリ道を手足で突張り、膝の荷物と閉隔りに鑑を取りつゝ、行程一時間半欄干のない板橋に対する恐怖も容れ級で 一刻も早く宿泊予定地に着くことを専ら限りのみ。

影趣溢れる温泉にひたつて、人心地を取臭す宿の女中機能。ど んな好い男であつても、此の温泉境を離れて迄一間になりたく はないとおつしやる、住めば都とは良く云つたもの

此の地に山の片半分を占める岩が、女性のアルものそつくりに見えて高名だ相だが、梅雨空のいたすらはペールをかべるむで旅人ののぞきを許して呉れなかつたのは無念

皆様ラーメン組合というものを御存知ですか。

一人一口百円出資の漁協を指した尊称だ相です。 縫談のうちに 飛出した前田永産部長の名詞です。

翌朝車体に錆止る施してない、グチョロの斑バスに御厄介になって一時間半で気房へつく気疲れが積つたのか、行程の半ばを過ぎた安心感からか里心が薬つて来る

△ 種子ヶ島の行事が済んだら、真直ぐ所属船で帰ろうではないか。

(真野水産課長と上野とのさょやき)

△ 口之永良部から栗生間の時化には全くマイツタ 安全の為には船は大きい程よい、西之表で時化たら機選は 何時迄でも鉛便を待つ

之は云うまでもなく水産部長の御意見・

△ 部長は一人残して置こうか。 (ごれは上野が云つたごと)

ごうした意見が出るのも逆説的には 女房の空気の如き存在価 値がこうら辺りで無意識に認識された結果と云えよう。

渡花節ではないが、お粗末ながら時間の来ぬうち端折つて引込むことにします。

場 長 メ モ

5月2日

するかもめ丸無線機検査九州電波監理局の森枝官外一名で実施、 午前中で終了

大島分場製の塩もづく、ボグエチレンの包装をしてある、品質 >ほよい様だが包装の見かけにどことなくアカ抜けしていない。 5月4日

が 舞田鹿児島市漁協長を招き、あさりを市民に採取させるとき で小型のものはよるい分けて移殖用として買上げる様にするめ たところ大賛成であった。 移殖種苗の買手側と連絡の時間がいる るから / ケ月以上前に予告するように依頼しておく かもめ丸汽泡発生機取付及試運転 5月7日

午後 / 時から県連合海員委と参嗣業者関係合同の協議会 (中型及び大型まき嗣操業区域変更と県外船入漁について及び3 双張網を許可制とすることについて) 5月9日

長崎での会議出席の途中島原市の大津栄氏宅に寄り、**のり** 題に関していろいろ話合つて得るところが多かつた。

町の研究家漁業者であるが電機気機に関する技術者出身の引着であり技術的繁養が身についているから全く素人の1011 に対しても実に研究の方向が的をいて居り大部分の府県水鑑に 設技師でこの人に太刀打できる人はあるまいとまで思われるまだった

5月14日

留守中の事務連絡をうけた。会議関係では一応必要限度の: 絡を口頭まで但当者にしておくうしお煮特許申請受理され番 通知へガキ到達(題書番号特許、昭和3/一//850) 追加予算は試験船使用の底曳試験の燃料費のみ計上の予定だ たが漁政課長及び水産課長の意見で業者船の補助分も本場予 に計上することにした由、報告をうけた本場は別に差支ない 補助予算まで試験場にとると水産課はますます変な立場にな! はしないだろうか?

本場復典予算も / 5.00 萬円を / 350 萬円に縮少して多り版会に計上要求する模様

4月16日

あさくさのり反省会(主催水産課)

出席者 軽水町、国分市、加治木町、帖佐町、鹿児島市、谷山町、出水市、川內市 前記の役場及漁協職員、終職後米之津で初めてから鹿児島湾内及川内川等に拡つて現在上記の個所で実施しており相当の発展振りであるが、他県に較べて遅れているのは南国のセイとも云へるだろうが。技術面でも相当遅れている様だから我々の努力が大いに必用な訳だ

华月次3日

章人日当山漁協理事為浜幸造氏の来場を仰ぎ、あさくさのり の体験談を示る / 本のヒビから 20 枚近くもあさくさのりを必 きあびた事は特記してよかろう

4月35日

北山技師、長島村の各地の養殖講議に永山技師岩面腦破(フノリ)のためエイ町へ出発。

5月7日

小松橋、庭大隼人丸にて鹿児島湾内観測のため出発、3日間 の予定だが天気が定まられので長引く事が予想される。

5月9日

きば強体測定、機場が佐田岬沖合のため鮮度が非常によく作業も気持よく遺長した。

- 一、まさか第五号あたりで印刷刊行になるとは夢にも思わなかった。 帆船から動力船に切換えて貰つたようで基だ愉快である あとは内容次第
- 一、原稿提出も期限間近かになると、各部の委員からきちん**を提**出されるようになつて、目をむき出して提出を強要する**選出** も不要となつた。

分場 種子駐在からも投稿があって、幅も広くなった。 三号あたりでつぶれるのではないかと危ぶまれるしたし、ひ やかされるしたが、どうやら秋眉を開いた形、永続は力であ るか。

、鹿大の田之上先生と漁政課の岩元(毅)さん準人日当山の為 浜幸造さんから寄稿して貰つた。ここで風跡の意を表明して おく。

(又 水)